

# 株橋日涌先生 略年譜

- 明治四十二年 十一月十三日、福井県大野町にて、父才助、母むめの長男として生る。幼名定雄（戸籍上は十一月二十日生）。
- 大正五年 四月、大野町立有終小学校に入学。
- （一九一六）
- 同 十年 三月、同校第六学年卒業に際し、成績優秀につき特に旧大野藩主土井利剛子爵より硯函一箇を賞与さる。
- （一九二二）
- 同 十二年 十月、大野町光玖寺にて前田諦静師により得度剃髪。法名諦秀。後に能化として惣在院日涌と号す。
- （一九二三）
- 同 十三年 四月、本門法華宗学林（現学林の前身、以下宗学林と称す）に入学。神戸本光院信隆日秀上人に隨身。
- （一九二四）
- 昭和三年 三月、宗学林卒業。
- （一九二八）
- 同 年 九月、大阪本行寺住職宗学林学監釈日遵上人に隨身師事。この頃より書道を伊藤東涯氏のもとに学び始める。
- 同 四年 四月、宗学研究生として仏教学特に宗学研鑽に従事。本徳寺貫首桃井日晃上人のもとにて宗義受講の傍ら日隆聖人全集の校正にあたる。
- （一九二九）
- 同 五年 四月、大阪本行寺において釈日遵上人の指導のもと諸務一切を擲って大阪中之島図書館に一日も休むことなく通館勉学すること一年有余。
- （一九三〇）
- 同 七年 四月、宗学林助教授として奉職。
- （一九三二）
- 同 八年 十二月七日、師僧平波（旧姓前田）諦静師金沢本因寺にて遷化。
- （一九三三）
- 釈日遵上人の付弟となる。

同 十四年 三月六日、権僧都に昇叙。

(一九三九)

同 年 四月、宗学林教授。

同 十六年 四月十一日、国神曼荼羅不敬事件にて

(一九四一) 兵庫県警特高課により検束。神戸拘留

所に収容さる。

同 年 七月二十一日、不敬容疑者として苅谷

日任上人とともに起訴さる。

同 十七年 四月十四日、保釈出所。

(一九四二)

同 年 四月十六日、予審終結決定。

同 年 十一月二十五日、神戸地方裁判所に於

て第一審公判始まる。(神戸地方裁判

所第三刑事部裁判長前田了吉判事、弁

護士山田一太郎)

同 十八年 八月三十一日、第一審判決公判。懲役

(一九四三)

一年執行猶予三年の判決。判事・検事  
の強制的説得あるも直ちに控訴申請。

同 年 十二月七日、大阪控訴院に於て第二審

開始。(大阪控訴院第二刑事部裁判長

大野新一郎判事、弁護士山田一太郎)

同 十九年 八月二十六日、控訴審判決公判。無罪。

(一九四四) 検事側上告。(八月三十日付大阪控訴

院検事長遠藤常寿名儀)

同 二十年 三月八日、大審院判決。「原審破棄、

(一九四五) 控訴院へ差し戻す。」(大審院裁判長久

保田英美、主任検事平野利、弁護士花

井忠)

同 年 十月二十四日、大阪控訴院にて免訴の

判決をうく。

同 年 十二月一日、本能寺塔頭蓮承院住職と

なる。

同院を臨時学林教務所として通信教育

を開始。

同 二十二年 十二月十六日、枚方大隆寺特選住職を

(一九四七) 拝命。

同 二十三年 一月、同寺を臨時学室として実地授業

(一九四八) を開始。

同 二十四年 五月二十五日、権僧正に昇叙。

(一九四九)

同 年 六月、教学審議会委員に任ぜらる。

同 年 十一月二十六日、師僧釈日遵上人遷

化。

同 年 十二月、桂林同学会設立さる。荊谷日

任上人とともにその主講となる。

武庫川説教所(釈日遵上人の隠居所)

を教会所に改称し兼務担任となる。

同 二十五年 武庫川教会所を良栄寺と改称し兼務住

(一九五〇) 職となる。

同 二十六年 十二月十二日、日隆聖人御聖教刊行の

(一九五一) 校閲主任となる。

同 二十八年 二月十三日、僧正に昇叙。

(一九五三)

同 三十一年 十一月、兼務の良栄寺住職を後継に託

(一九五六) す。

同 三十二年 十月一日、興隆学林学監に就任。

(一九五七)

同 三十八年 六月一日、桂林同学会、法華宗教学研

(一九六三) 究所と改称さる。その初代所長に就

任。

同 四十二年 一月、印度仏跡巡拝。霊鷲山頂に宗祖

(一九六七) おかたぎ御本尊を納む。

同 四十三年 七月、自坊大隆寺本堂・庫裡大改築工

(一九六八) 事に着手。

同 四十五年 十月二十四日、同寺本堂・庫裡大改築

(一九七〇) 落慶。同寺中興号を受く。

同 五十一年 十月、本興寺第百二十六世に加歴さ

(一九七六) る。

同 五十二年 五月、興隆学林長に就任。

(一九七七)

同 五十五年 二月二十五日、大僧正に昇叙。

(一九八〇)

株橋日涌先生略年譜

同 五十七年 一月八日、法華宗全書刊行会編纂局編

(一九八二) 集局長となる。

同 年 九月九日、法華宗教学研究所名誉所  
長。

同 五十九年 一月七日、遷化。法寿七十六。

(一九八四)